

学生支援ワークショップ（主催：筑波大学精神医学グループ、共催：筑波大学保健管理センター）

休学・留年生のサポートを考えよう

再スタートのための居場所作り

休学・留年学生が全大学生の1割を超える現状は、大学の意味に関わる深刻な問題です。そこで今までにない新しいアプローチが求められます。昨年度の教職員向けのワークショップを踏まえ、今回は休学・留年生の学内における居場所を考え、より実践的対応を生み出すために学生当事者も含めたワークショップを企画しました。この課題に関心のある本学学生諸君、ならびに学生支援に関わる大学関係者の幅広いご参加をお願いします。

日時：平成 26 年 3 月 1 日（土曜日）12:30～17:30

場所：総合研究棟 A 棟 110 公開講義室

参加対象：学生支援に関わる大学教職員・本学学生（定員 100 名）

開会挨拶

清水一彦（筑波大学学生担当副学長）

講演1（12:30～13:10）「大学生のひきこもりについて考えよう」

斎藤 環 先生（筑波大学精神保健グループ）

講演2（13:10～13:50）「キャンパスでひきこもり学生をサポートするコツ」

山本 朗 先生（和歌山大学保健管理センター）

講演3（13:50～14:30）「山形大学での留年生サポートの実際」

高橋 国法 先生（山形大学工学部学生相談室）

－休憩(15分)－

パネルディスカッション「休学・留年生が過ごす時と場所に思いをよせて」

司会進行：堀 孝文 太刀川弘和（筑波大学保健管理センター精神科）

話題提供1（14:45～15:05）「休学・留年について学生が考えること」

希死回生メンバー（筑波大学 T-ACT 学生団体）

話題提供2（15:05～15:25）「休学・留年生にサポートが必要ないろんな事情」

杉江 征先生（筑波大学保健管理センター学生相談）

話題提供3（15:25～15:45）「保健管理センターでみた学生のそれから」

石井 映美 先生（筑波大学保健管理センター精神科）

話題提供4（15:45～16:05）「学生の再出発：リスタートプロジェクトへの期待」

石川 正憲 先生（筑波大学医学医療系精神医学）

－休憩(15分)－

総合討論(16:20～17:30)

※本ディスカッションは、何が休学・留年生の居場所、復学支援として必要かを、講演者、会場にきた学生、元休学生、留年生で議論します。

閉会挨拶

朝田 隆（筑波大学医学医療系精神医学教授）

本会は筑波大学教職員の他学生参加も可能です。参加費無料です。当日参加も可能ですが、参加ご希望の方はできるだけ、事前登録をお願いします（tel & fax: 029-853-3182, mail: seishin@md.tsukuba.ac.jp）。



休学・留年生のサポートを考えよう

再スタートのための居場所作り

＜事前登録用紙＞

どちらかに○をつけていただき、下記までご返送ください。

参加

不参加

御所属

御芳名

宛先：筑波大学精神医学グループ事務局

Tel&Fax: 029-853-3182

E-mail: seishin@md.tsukuba.ac.jp